

現代の消費者主権

消費者は消費者市民社会の主役となれるか

ISBN978-4-8295-0713-1

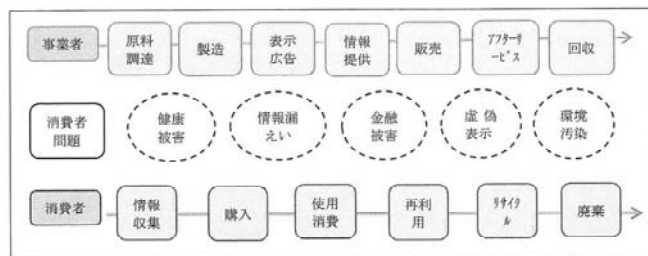
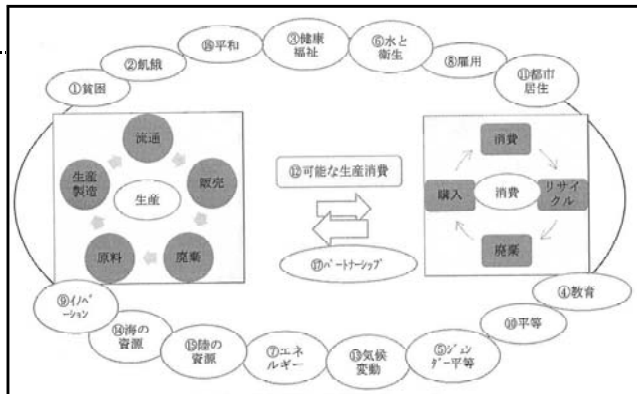
持続可能な生産消費

古谷由紀子著 A5判ソフトカバー194頁 本体 2,200円

消費者が主役になれる社会実現のための提言

戦後から現在までの消費者政策の変遷を学び
これからの行政・企業・消費者団体の役割を明らかにする

- ❖消費者問題はなぜ起こるのか？
- ❖消費者問題が抱える課題とは？
- ❖消費者が不利益を受けているのは情報格差のためなのか？
- ❖消費者は権利主張ばかりで責任を果たしていないのか？
- ❖消費者教育のあり方とは？



消費者問題
発生イメージ

環境ラベル



著者 古谷由紀子 (ふるやゆきこ)
1949年生まれ。消費生活アドバイザー。
中央大学大学院総合政策研究科博士後期課程修了。博士(総合政策)。サステナビリティ消費者会議代表、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会常任顧問、経営倫理実践研究センターフェロー、CSRレビューフォーラム共同代表、中央大学政策文化総合研究所客員研究員。消費者庁「消費者教育推進会議」委員、財務省「関税・外国為替審議会」委員。主な著書：『消費者志向の経営戦略』(芙蓉書房出版、2010年)、『ISO26000実践ガイドー社会的責任に関する手引ー』(共著、中央経済社、2011年)、『商品の安全性と社会的責任』(共著、白桃書房、2013年)。

第1章 消費者の選択と市場経済

経済の基本的仕組みにおける消費者の選択/消費者の権利と市場経済/消費者の役割・責任と市場経済

第2章 市場経済における消費者と消費者問題

市場経済における消費者/「消費者問題」の社会問題化/消費者問題の現状/消費者問題「安全の問題」/消費者問題「表示・広告の問題」/最近はどのような消費者問題があるか

第3章 消費者問題の「問題点」と「発生要因」

「問題点」は6つに分けられる/「発生要因」は3つ

第4章 消費者政策

消費者問題・消費者・制度の変遷/主体ごとに見る消費者政策の特徴/消費者政策の体系の変遷

第5章 消費者市民社会と消費者

「消費者市民社会」概念の登場/持続可能な社会に向けた消費者としての行動への期待/SDGsを「持続可能な生産消費」を起点に見る/

第6章 消費者を支援する消費者教育

消費者教育の変遷/「消費者の自立」、「自己責任」の登場と背景/消費者政策における「保護」から「自立」の変遷の問題/消費者被害防止と消費者市民教育の分断/各種調査から見る消費者の意識

第7章 「現代の消費者主権」の実現

「現代の消費者主権」とは/消費者をどう捉えるべきか/消費者問題の「発生要因」と「現代の消費者主権」の関係/消費者以外の他の主体の役割とは

第8章 多様な事例を通して考える「現代の消費者主権」の実現

5月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 5月2日(火) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
現代の消費者主権		
5月新刊 本体 2,200円	部	